

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年2月18日(2010.2.18)

【公表番号】特表2009-522209(P2009-522209A)

【公表日】平成21年6月11日(2009.6.11)

【年通号数】公開・登録公報2009-023

【出願番号】特願2008-547836(P2008-547836)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/48	(2006.01)
A 6 1 K	9/127	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	21/00	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	27/16	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	25/18	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	14/71	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 K	47/48	
A 6 1 K	9/127	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	21/00	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	27/16	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	25/18	
A 6 1 P	25/28	
C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 0 7 K	14/71	

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月28日(2009.12.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(i) 治療的有効量のニューレグリン、及び(ii)該ニューレグリンの放出を制御する装置又は材料を含む、哺乳動物の心臓疾患を治療又は遅延させるための徐放組成物であつて、前記ニューレグリンが、前記哺乳動物に、1日当たり該哺乳動物の体重1キログラムにつき約1U～5000U放出される、前記徐放組成物。

【請求項2】

前記装置が、浸透ポンプ又はシリンジポンプである、請求項1記載の徐放組成物。

【請求項3】

前記材料が、ポリ(エチレングリコール)、リポソーム、及びマイクロスフェアからなる群から選択される、請求項1記載の徐放組成物。

【請求項4】

前記ニューレグリンが、ニューレグリン-1 (NRG-1)、ニューレグリン-2 (NRG-2)、ニューレグリン-3 (NRG-3)、及びニューレグリン-4 (NRG-4)からなる群から選択される、請求項1記載の徐放組成物。

【請求項5】

前記ニューレグリンが、上皮成長因子様(EGF様)ドメインを含み、かつ該EGF様ドメインが、NRG-1、NRG-2、NRG-3、又はNRG-4の受容体結合ドメインのアミノ酸配列を含む、請求項1記載の徐放組成物。

【請求項6】

前記ニューレグリンが配列番号1のアミノ酸配列を含む、請求項1記載の徐放組成物。

【請求項7】

前記心臓疾患が心不全又は心肥大である、請求項1記載の徐放組成物。